



新しい生活様式でごみが増加中！

そのごみ「正しく」 捨てられますか？



新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、仕事を在宅勤務にしたり、食事のテイクアウトや宅配を利用したりするなど、自宅に居る時間が長くなっていませんか。これによりごみの排出量が増え、誤った捨て方も増えています。この機会に、ごみの出し方を今一度確認しましょう。

問い合わせ 廃棄物政策課 ☎7167-1140 ・ ㊚7163-3728

誤った捨て方も増えています！

3～8月でごみの排出量が最も多かった時期と昨年の同時期を比べると、家庭から出された各ごみの量が1.2～1.6倍に増加しました。ごみの排出量だけではなく、誤った捨て方による**異物の混入量も増加**し、資源品(資源ごみ)の異物量については、**2倍**になっています。

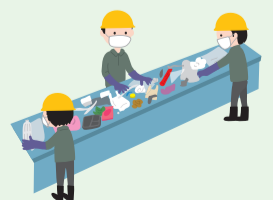
異物の混入量が増えた原因としては、「新しい生活様式」による次の変化などが考えられます。

- 今まで自分自身でゴミ出しをしていなかった人が、誤った分別でゴミ出しをするようになったこと
- 家から出るごみの量が増え、分別が手間になったこと
- 通販の利用の増加や、断捨離により分別判断の難しいごみが増加したこと

異物が混入していると…

資源品(資源ごみ)や容器包装プラスチック類(プラスチック系ごみ)は、収集後に選別施設に運ばれ、作業員が**手作業で選別**し異物を取り除いています。例えば、容器包装プラスチック類(プラスチック系ごみ)にマスクなどの異物が混ざっていると、作業員の作業量が増えるだけでなく、**ウイルスへの感染リスクや危険物によるけがを負う可能性が高くなってしまいます。**

このようなリスクを減らすためにも、皆さんの適切なごみの分別とご協力が重要です。



この「クルクルクリーンかしわ」(P1～4)は抜き取ってお読みください

レッツチャレンジ! わが家のゴミ分別・減量大作戦!

皆さんは、ごみの分別がしっかりできていると自信を持って言えますか。あなたが正しいと思い込んでいるごみの分別方法が、実は誤っているかもしれません。ごみの減量を心掛けるとともに、改めて分別方法を確認し、ごみの分別マスターを目指しましょう。

食料・食品の購入時



食品は必要なものを、必要な分だけ購入しましょう!

- 買い物前に冷蔵庫の中身のチェックを
- 買い過ぎず、食べきれぬ量の購入を

レジ袋が有料になったので、マイバッグを持参しよう



通販の利用時



開封後はすぐに分別を

通販を利用した際の梱包材(こんぼうざい)はその都度たまるため、商品到着後は早めに分別を行うのがお勧めです。

最近では、梱包のコンパクト化のため、段ボール以外でも、クッション付き封筒や厚紙封筒の利用が増えています。



NO!

段ボールを長期保管するとカビや害虫の発生原因になるよ!

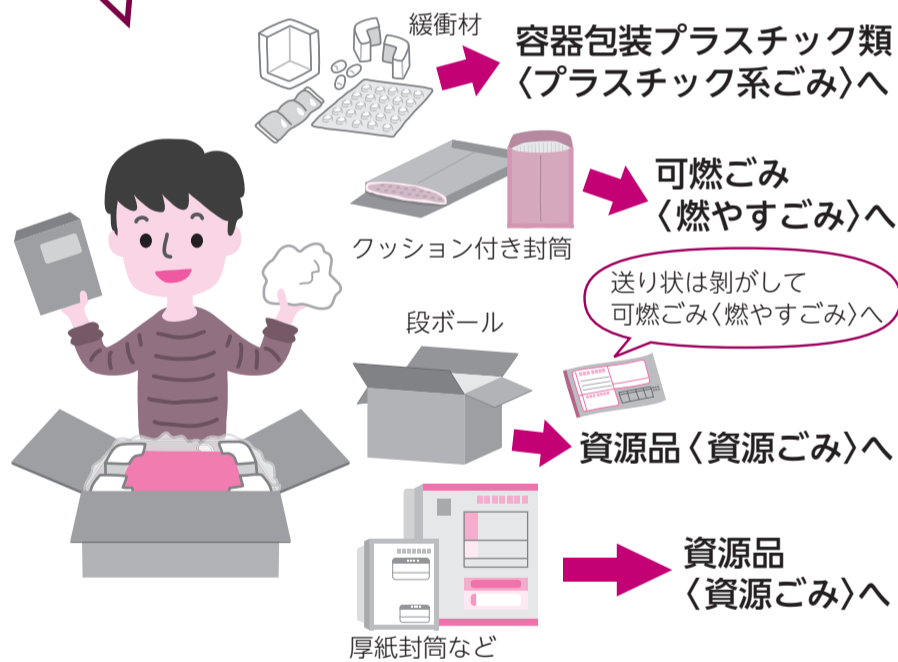


調理の時

生ごみは水切りを



商品到着後



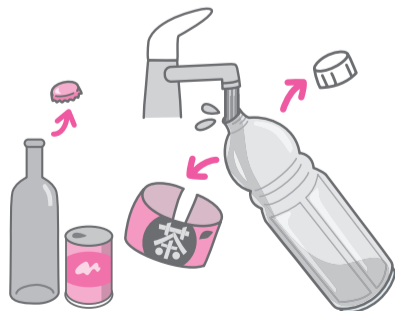
ごみの出し方の基本

資源品<資源ごみ>



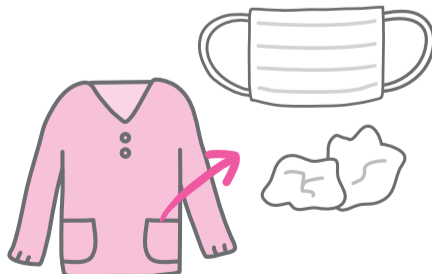
ごみ出しは種類ごとに

資源品<資源ごみ>は6種類<5種類>に分かれています。種類ごとに分別しないまま、まとめて出されていることがあります。資源品<資源ごみ>は必ず種類ごとに分別し、それぞれ適切な方法で出すようお願いします。



ビン・缶・ペットボトルは軽くすすいでください

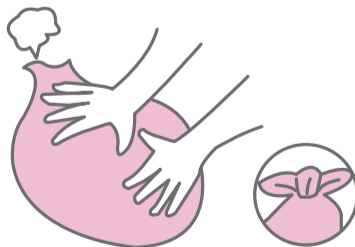
ペットボトルのキャップとラベルは必ずして容器包装プラスチック類<プラスチック系ごみ>へ。ビン等の金属製キャップは資源品<資源ごみ>へ。



ポケットの中身の確認を

衣類のポケットに、マスクやティッシューパーなどを入れたまま古着を出さないようお願いします。

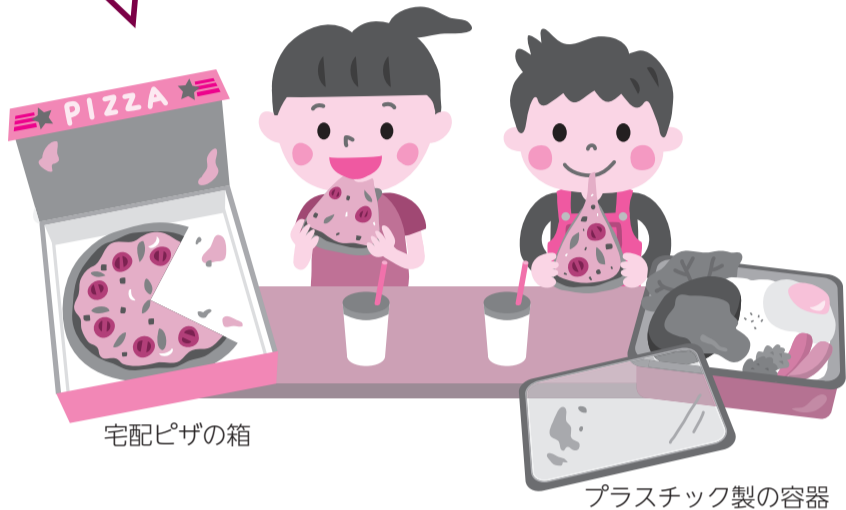
各指定ごみ袋で出すもの



ごみ袋は空気を抜いてください

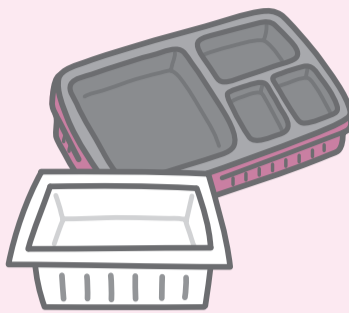
収集運搬作業時に、ごみ袋の破裂によるウイルスの飛散付着を防ぐため、ごみ袋を外側から押して空気を抜いてから、ごみ袋の口をしっかり結んで出してください。ごみの飛散防止にご協力ください。

テイクアウト・宅配



容器包装プラスチック類 (プラスチック系ごみ)

食品などが入っていた使い捨てのプラスチック製の容器や包装は、汚れを落としてから**容器包装プラスチック類(プラスチック系ごみ)**へ。



水ですすいで汚れの落ちないものは可燃ごみ(燃やすごみ)。プラマークがないものは不燃ごみ(燃やさないごみ)へ出してね

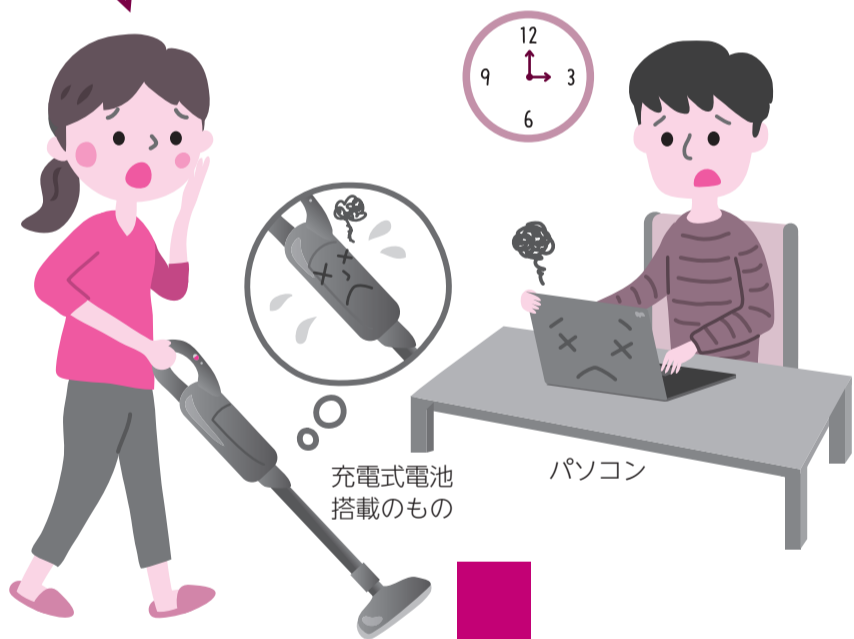


可燃ごみ(燃やすごみ)

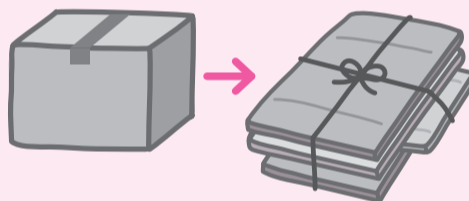


- ・食べ残し
- ・調理くず
- ・汚れ、油の付いた箱や紙類
- ・汚れの落ちない容器包装プラスチック類(プラスチック系ごみ)

小型家電等が不要になった時



資源品(資源ごみ) 段ボール



図のように、畳んでからひもで縛って出してください。

雑誌・ざつ紙



使い捨てマスク、レトルト食品、お菓子などが入っていた紙製の箱は「ざつ紙」として**資源品(資源ごみ)**の日に出してください。

出す際は、ひもで縛るか紙袋に入れまとめて結んでください。

縛る際にガムテープは使用しないで!



コードレス掃除機・ハンディクリーナーの出し方について

充電式電池は本体から取り出し有害ごみ(危険・有害物)へ

充電式電池の取り外し方は、製品の製造元にご確認ください。本体は**不燃ごみ(燃やさないごみ)**へ。

小型家電の出し方

スマートフォンや電気シェーバー、ゲーム機などの**小型家電**は、市内18カ所に設置した使用済小型家電回収ボックスに投入していただけます。

◎使用済小型家電回収ボックスの設置場所や出し方について、詳しくは市のホームページかごみ出しカレンダーをご確認ください※ごみ出しカレンダーは市のホームページからダウンロードするか出張所で入手できます

不要なパソコン等を回収します

①使用済小型家電回収ボックスへ

回収ボックスの投入口(30cm×15cm)に入るものに限り、ディスプレイ単体での回収はできません。

②業務提携事業者(リネットジャパンリサイクル)へ

- 希望日時(最短翌日)に自宅へ回収に伺います
- パソコンの数や種類を問わず、3辺の合計が最大140cmの箱などに重量20kg以内に収めると、申し込み1回につき1箱分の回収料金が無料

注意

マスク・ティッシュの出し方



使用済みマスクや鼻水等が付着したティッシュペーパーは、**可燃ごみ(燃やすごみ)**へ。

感染症の恐れがある場合は、必要に応じて袋に入れて口を縛ってから指定のごみ袋に入れてください。



最新情報

クリンちゃんからのお知らせ

柏地域では 草木ごみは可燃ごみ として出してください

焼却灰の放射能濃度の低減に向けた取り組みの1つとして、柏地域で行ってきた月2回の草木ごみの収集は、放射能濃度が低下したことから、10月1日から「可燃ごみ」として週2回の収集に変わりました。(柏地域：平成17年の沼南町との合併以前から柏市だった地域)

草木ごみの出し方

- 草木ごみは土を落とし、他の可燃ごみと一緒に「可燃ごみ」の指定ごみ袋に入れ、可燃ごみの日に出してください
- ◎ 草木ごみに購入済みの袋については、来年3月31日までご利用いただけます。その場合は、他の可燃ごみとは混ぜずに出してください



- 木の枝は直径20cm程度にひもで束ねて出してください。また、トゲのあるものは貼り紙で表示してください



注意 沼南地域(合併前の沼南町域)のかたは、草木ごみの出し方に変更はありません。これまでどおり「燃やすごみ」としてお出ください

問い合わせ

草木ごみの分別について=廃棄物政策課☎7167-1140
ごみの出し方について=環境サービス課☎7167-1139

ごみ出し困難者への支援を開始

市では、ごみを集積所まで運ぶことが困難な方を対象に、玄関先まで伺いごみの回収を行うサービスを開始しました。

対象 市内在住で、**世帯全員**が次のいずれかに該当するかた

- 要介護3以上
- 療育手帳のAの2以上
- 身体障害者手帳の視覚障害・肢体不自由の1・2級
- 精神障害者保健福祉手帳の障害等級1級

◎ 条件に当てはまらない場合でも、ごみ出しが困難な場合は廃棄物政策課までご相談ください

費用 無料

申し込み方法 事前に電話連絡の上、廃棄物政策課(市役所本庁舎4階)で配布する申請書に必要事項を書いて、〒277-8505 柏市役所廃棄物政策課へ郵送するか直接持参を※申請書は市のホームページからダウンロード可。代理人による申請可

ごみの収集方法

週1回、指定された曜日の午前8時30分までに、ご自身で用意した収集容器へごみを入れる

ごみ出しカレンダーの分別方法に従って分別し、可燃ごみ(燃やすごみ)と容器包装プラスチック類(プラスチック系ごみ)は指定ごみ袋に入れ、ビン類・缶類・ペットボトルは、それぞれ中身の見えるごみ袋に入れて出してください。

収集作業員が各家庭を巡回し回収



収集時にごみが出ていないときは、収集作業員がインターホンを鳴らします。応答がない場合は安否確認のため、親族などの緊急連絡先に連絡します。

問い合わせ

利用申請・制度について=廃棄物政策課☎7167-1140
収集作業について=南部クリーンセンター☎7173-5111

「もったいない」から「ありがとう」へ

～食べ物の寄付活動、フードバンク～

実は深刻…捨てられてしまう食品の現状

日本では、年間約612万トンもの食品ロス(まだ食べられるのに捨てられてしまう食品)が発生しています。これは、世界中で飢餓に苦しむ人々に向けた世界の食料援助量約390万トンを大きく上回る量です。

■フードバンクってなに？

フードバンクとは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品を、食べ物に困っているかたや施設に寄付する活動のことをいいます。支援者のかたから届いた食品はフードバンク団体を通して、食べ物を必要としているかたに提供します。



■フードバンクのご案内

市内で活動する2つの団体で、食品の寄付を受け付けています。

団体名・連絡先	対象食品	寄付の方法
柏市 地域生活支援センター あいネット ☎7162-5933	穀類(米、麺類、小麦等)、食用油、インスタント食品、レトルト食品、菓子類、飲料品、各種調味料 注意 ・賞味期限が明記されていて、期限まで2カ月以上あるもの。ただし、米は精米してから2年経過していないもの(今年度の場合は平成30年まで) ・未開封で包装が破損しておらず中身が出ていないもの ・常温で保存が可能なもの	事前に団体へ連絡の上、指定された場所へ直接持ち込むか郵送してください
とうかつ草の根 フードバンク 流山市鱈ヶ崎1273 ☎090-2733-0555	賞味期限が2カ月以上ある米や麺類、缶詰、インスタント食品、レトルト食品、乾物、飲料品、冷凍食品、各種調味料	

お礼 市民の皆さんからのお手紙

～新型コロナウイルス感染拡大中の収集について～

ごみ収集時に、市民の皆さんから多くの感謝・激励のお手紙をいただきました。皆さんからの心温まるメッセージに感謝し、今後もこれを励みに新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めながら、収集業務を継続していきます。

皆さんからいただいたお手紙

